



新年のごあいさつ

新年明けましておめでとう
ございます。
ここ数年の建設投資の伸び悩みの中で、建設業界は

労働生産性の向上を

建設省建設経済局長 清水 達雄

こうした状況において、これに要する新規労働力確保と
余程の努力がなければ、確保のために他産業からの賃
弱な企業体質、労働条件の金を支払わなければなら
低さ、前近代的な契約関係、その結果経営がひっ迫
など建設業の抱える諸問題、この結果競争に負けて
今後の建設需要を考慮して、今後十五年間に実
まると、今後十五年間に実
が一層深刻化する可能性が、今後建設業界におい
出が促進され、「技術・経
営に優れた企業」の成長が
実現しうるような市場を形
成する。
② 向上への意欲と能力
を有する企業の成長を支援
するようなシステムを整備
する。

菅本博会長を再選

日ダ連総会 全議案可決承認

ダクト工業協同組合連合会 五周年を記念して開催され
会第五回総会は、昨秋一〇
月二〇日、奈良市の奈良パ
ルクホテルを会場に、創立
〇名余が出席、理事会から
上程の七議案を慎重審議の
末、すべて原案通り可決承
認しました。
総会は午後四時から開始
られ、物故者への黙祷、菅
本会長の挨拶のあと議長選
出、議事に入りました。
議事終了後は直ちに盛大
な祝賀と懇親宴に移り、八
時閉会しました。
当日ご出席の来賓に対
し、紙上を借りて深謝申し
上げます。
全国ダクト工業団体連合会
関東空調工業会
神奈川県空調事業協同組合
千葉県ダクト事業協同組合
富山県ダクト工業協同組合
尚、改選された新役員
の氏名は

- 会長 菅本 博
副会長 小山清一
専務理事 村上 章
理事 木内浩、光本章、
栗原洪、木村隆雄、
増田高治、須藤領
二、濱田政義、山
中武信、花松操、
阿部國男
監事 多田哲雄、黒澤文
広、淵辺和雄。



するとともに、許可制度を
化の積極的な推進を図る。
前提とする建設業の特性に
かんがみ、不適合な企業
の建設産業ビジョン研究会
では本年早々に報告書がと
りまとめられる予定で
が、前述した方向が大きな
検討課題となろうと思われ
ます。
③ 元請・下請関係の形
成に当たっては、合理的な
市場競争の中で優良な下請
企業が的確に選別されてい
く方向を基本としつつ、特
に下請企業の経営基盤の強
化を図り、元請・下請双方
が対等な経済主体として効
率的な建設生産を担う仕組
みを追求する。
④ 建設業のもつ生産特
性や施工条件の変化等を克
服し、生産性の向上に寄与
するよう技術開発や機械
といいたします。

改訂後第四回の技能検定
は、昨夏七月二日に摂津市
の関西技能開発センターを
会場として実技が、続いて
九月八日に学科試験が、そ
れぞれ実施された結果、大
阪府では次の方々が栄光の
合格者となりました。おめ
でとございます。(但し
両科目パス)
◇建築板金(ダクト板金作
業)一級
山口昌義、牧浩司、西村俊
彦、田口登、片岡桂、宮野
良夫、増井勝彦、安本邦弘、
平川逸雄。
◇建築板金(ダクト板金作
業)二級
矢島康司。

大阪府下で10名が合格
1級技能士9名と2級技能士1名誕生
改訂後第4回ダクト板金技能検定

印亜鉛鉄板・ステンレス

月星商事株式会社

本社/東京都中央区八丁堀4丁目4番2号
大阪支店/大阪市西区新町2丁目10番6号
電話/大阪(06)541-8771(代表)
支店/北関東・神奈川・郡山
営業所/和歌山・姫路・静岡・福岡・小山・千葉・埼玉・
土浦・山梨・札幌・浦安倉庫・桜島倉庫



日ダ連第5回総会会場 出席者の記念撮影

組合の歩み 昭和60年

7月3日 常務会
6日 教厚委員会
8日 大阪市交通局入
札
16日 組合通信発行、
工賃委員会、工事
担当者会議
21日 ダクト板金実技
試験

8月2日 常務会
6日 (全ダ連役員会)
14日 臨時休業
16日

9月11日 組合通信発行
17日 大阪市交通局入
札
13日 大阪府中小企業
者大会、優良組合
表彰
15日 組合通信発行
19日 常務会、第六七
回理事会
25日 (全ダ連一〇周
年記念式)
10月2日 常務会
15日 組合通信発行
20日 第六八回理事

11月5日 常務会
15日 (日ダ連役員
会)、(日ダ連第
五回総会)
31日 鋼双葉製作所法
定脱退

12月3日 常務会
16日 組合通信発行
19日 第六九回理事
会
20日 組合通信発行
20日 阪大入札
30日 臨時休業

亜鉛メッキアングル製フランジを取付けた

NPファブリダクト-FL

略称 N.F.D-FL

ファブリダクト・シリーズにフランジを取付けた「ニッパンファブリダクト-FL」はダクト組立工程の短縮・省力化を大巾に推進した画期的な製品です

発売元

日本鐵板株式會社

大阪支店 大阪市東区大川町1(日土地産屋橋ビル)
TEL 大阪(06)203-5691(大代) 千541

スクラップ情報

鈴木光男全国中小建設業協会会長は、このほど通産省に村田通産大臣を訪ね、中小企業の定義見直しをふくむ中小企業政策の推進、内需振興のための公共事業の拡大、バランスのとれた民間活力の導入—などを要請した。この鈴木全中建設業の要請は、当面の諸問題についての個々の陳情ではなく、村田通産大臣との対談のなかで中小企業政策を担当する通産大臣としての基本的な姿勢を質し、施策の促進を要請したものである。これに対し村田通産大臣は、①中小企業の定義改正の検討が急速にすすむられるよう努力する②公共事業の範囲をさらに拡大して民間活力の導入が促進されるよう努力したい—と答え、鈴木全中建設業の要請を全面的に受け入れる姿勢を示した。

会長 通産省は中小企業政策を担当する政策官庁ですが、ここで大臣に中小企業

村田通産大臣に質し要請

中小企業政策推進・鈴木全中建設会長

業政策のなかでも中小建設業の育成は大変重要で、私は衆議院建設委員長、自民党の公共事業執行委員長をや、竹下建設大臣のとき建設事務次官をつとめるなど建設関連の仕事をつとめてきた。ですから金丸信、竹下登といった先輩に続いて、私も公共事業の推進に力を注いでいる一人だと思っています。ですから中小建設業が健全な発展の定義を見直してもらいたいというのを重ねて申す。大臣がご就任のときにもお願いしましたが、中小企業基本法に定められた中小建設業の定義、を注をふやしていただくのは、活活性化が必要で、

がん予防12カ条

- 1 偏食をしない
動物性、植物性のものなど、多くの食品をバランスよく食べることで、発がん要因を打ち消します。
- 2 同じ食品を繰り返し食べない
食品のなかには、微量ながら発がん物質を含むものもあります。同じ食品を毎日続けて食べないことも大切です。
- 3 食べ過ぎをしない
ネズミの実験では、60%の食事量制限の方が、食べたい放題組よりも発がん率が低いという結果が出ています。
- 4 深酒をしない
フランスでは毎日ワインを大量に飲む地域に食がんが多く発生したという報告があります。
- 5 喫煙を少なくする
たばこ、とくに紙巻きたばこが肺がんとの関係が多く指摘されています。
- 6 ビタミン、繊維質を摂る
適量のビタミンA、C、Eは、身体のがん化防止に欠かせません。繊維質は通じをよくし、がん物質を排除します。
- 7 塩辛いもの、熱いものに注意
塩分を多く摂る地域には胃がん、熱い茶がゆを食べる地域には食道がんが多いという傾向があります。
- 8 ひどく焦げたものは食べない
魚や肉の焦げた部分に発がん性のあることは動物実験でも確かめられています。
- 9 カビ、に気を付ける
ピーナツなどに生える、ある種のカビと肝臓がんとの関係が指摘されています。
- 10 過度に日やけをしない
「日やけ」は紫外線によって起こりますが、日やけのしすぎは皮膚がん発生の原因になると言われます。
- 11 過労を避ける
どんな病気も同じ。無理をすると、人間が本来持っている病気の抵抗力を弱くさせます。
- 12 身体を清潔に保つ
子宮がんは、風呂やシャワーなど身体を洗う設備の少ない地域で高い発生率を示しています。

ずいひつ

老年から実年へ

新ネーミング時代に思うこと

昭和も遂に還暦を迎えて、世界記録がまた一つ増えた。盛大な祝賀行事がある。昭和と共に生きてきた世代として、もう六十年が...と感慨は尽きる所がない。

ジャネーの法則によると、年令を重ねるに従って時間のたつのは逆比例して早くなるというが、全くその通りだと思ふ。成人までは無限に時間があるように思っていたが、中年になると坂を転がるように加速する。この心理的法則だけは、人生八十年時代になっても同じである。

さて、昭和還暦の今年はどうなるのであろうか。寅年は荒れるとも言うが、どうか戦火の無い、真の平和が全世界に訪れるよう祈らざるを得ない。物よ折しも心を大切に政治をすべての指導者に今年こそ

厚生の見解によると、五〇〜六九才は熟年ではない。ささか若過ぎるし、老年と呼ぶには少々早過ぎるのだから、充実して実り多い世代にピッタリだとして「実年」の呼び名を普及したいようである。

確かに実の字は満ちるとか栄えるとか言う意味もあり、めでたいことに違いないのだが、半面には情実、口実、不実、無実等々も見えて、生臭さが全くないとは言えない節はある。

現在政治の実権を握っている実力者の多くは実年、戦前のような、天命を知る一耳順と言われるほどおぼろげではない。内実は実弾飛び交い兼ねない生々しさでさえある。

このことは実年世代の好きな言葉を見て見ても明らか。努力、思いやり、誠実、忍耐辛抱、義理人情等、生甲斐が仕事の会社

人間だから、その実を見失った時、自殺が急増しているのも特徴。それはさておき、せっかく賞金まで出して国民公募でイメージアップを考え、厚生の近來にない粋な計らいに、素直に従えぬ中高年識者がいるのはどうしたところだろうか。

「言葉は現実に合わせて自然に変わるものなので、手間ヒマかけて役所が押し付けなくてもよい」「中年とか壮年で充分。ジツネンなんて気味悪い。実りあると言っても、半ばの人、全く実らない人もいるかも」「老いは美しさもあれば寂しさもあって気に入っていません」という声。「中年、壮年の次に実年をばさんで老年を先送りしようと言っているのを粗大ゴミ視する思想がなければよいが」とも。

聞くところによると、投票は三〇万も集まったそうだが、不可解なことに、第一位はなんと「熟年」であった。その二、三位は言わぬまでも、二位とは言え、はるかに少なかった。「実年」を取って採用した事情は不明である。

参考までに、変わった票では、更年、本番年、筋金年、雑草年、我慢年、ルネッサンスエイジ、坂越え世代、今一挑戦年、となる。いささか複雑になってくる。

いつの世にも、他人の意見には耳をかさず、とかくケチをつけたがる向きは多く、一億総批評家とも言われる世の中。「いちいち取り合っているヒマはない。お前の意見はどうなんだ？」とおおりの方には、私は「幼、少、青、壮、老の五分類で満足しています」とでも答えておきましょう。

要はネーミングなんかではなく、国はこの時代に賜の当たる実のある施策をやらせてくれることが大切なのだ。ア、実に疲れた、

神山 水棟

フジスパイラー
TFSスムーズダクト
甲南式防煙ダンパー (空気式)

フジモリ産業株式会社
大阪市東区博労町二丁目四十一番地(中博ビル)
TEL 06(271)4 1 3 1

YS

保温・保冷・断熱・配管・钣金
計画・設計・施工

株式会社 彌栄商會

〒553 大阪市福島区福島4丁目4番43号
電話 大阪06(445)0131~3番
GIII FAX 06-445-6980